

質問順

第506回 令和2年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者		
1	5	牛山 基樹	(1) 第2期富士見町まち・ひと・しごと創生戦略にみる、20年後人口減少社会の中で活力を見出す富士見町の産業の姿について	① 持続可能な社会構築、人口減少社会デザインにおける町のビジョンを、産業の振興の面でどうシミュレーションして準備しているか？	町長		
				② 20年後2040年の人口10000人時代。人口が減ったとしても活力を持っている、強い町となるために必要なものは何か。			
				③ RE100や生グリーンエネルギー需要、ESG投資の中でも大きな価値を持つ、町内の再生可能エネルギーと、SDGsのローカル化の融合をどう考えるか。			
				④ 町内で発電される再生可能エネルギーのパワー総量は現在どのくらいあり、今後どのくらいの量になるのか、地域内循環による活用と可能性をどう考えるか。			
		(2) 2027年のリニア中央新幹線開通に備える町の構想について	① 町の予想している富士見町への影響について、分析や状況予想はあるか。	町長			
			② 2027年のリニア中央新幹線開通に備えるべき構想は。				
			③ 交通体系整備と公共交通ネットワーク充実の具体的な構築計画は。				
		(3) 新型肺炎の経済的対応策について	① 町内企業の新型肺炎における産業、経済的損失状況を把握しているか。	町長			
			② 産業及び雇用の維持に向けた町としての独自対策はあるか。				
			③ 危機管理に対する町の考えは何か。				
		2	1	川合 弘人	(1) 富士見パノラマスキー場の将来構想について。観光地としての可能性をどうみるか。	① 高圧埋設ケーブルの布設替えに続く大規模な投資計画の予定はあるか。設備の更新に関する中長期計画はあるか。	町長
						② 暖冬で雪不足が危惧される中で、1月の来場者数は伸びた。暖冬は今後も続く予想されるが、スノーシーズンは将来的にも15万人を維持することは可能か。	
③ 年間の来場者数は2017年度に25万6600人を記録し、2002年以降で最多となった。昨年度は1万人以上減少し、今年度もトータルでは減少するとみられるが、25万人の水準を維持することは可能か。							
④ 2018年6月に立ち上げた成長戦略策定プロジェクトチームは、1年半を経過して、収益増につながる成果を上げているか。							
⑤ 川崎市などから受け入れと、スキースクールの状況は。山梨県内のリゾートホテルからの受け入れ状況は。今後も受け入れを維持し、伸ばす施策はあるか。							
⑥ グリーンシーズンは10万人に届く状況となった。さらに来場者を増やす施策はあるか。展望台の改良計画や、山頂エリアの魅力を高める新たな計画を持っているか。							
⑦ MTBの利用者を増やす施策はあるか。							
⑧ スキー場に関して、社員、契約社員、委託会社を含めてどのくらいの人を雇用しているか。町内や諏訪地方への経済効果をどうみるか。							
⑨ 町から開発公社への貸付累計は、19年度末でどのくらいあり、返済完了を早めることは可能か。							
(2) 特急「あずさ」の富士見駅停車を増やすためにできることはあるか。	① 3月14日のダイヤ改正で、富士見駅は現状の上下4本から、5本増の9本が停車することとなった。これをどう評価するか。町内ではどう受け止められているとみるか。			町長			
	② 昨年の停車本数大幅減を受けて、町はJRに対してどのような活動をしてきたか。						
	③ 特急あずさの停車本数の大幅減は、町の観光産業や、住民生活にどのような影響を与えたか。						
	④ 今後、JRに対して町はどう対応するのか。また、諏訪地方の広域での方針はあるか。						

質問順

第506回 令和2年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
2	1	川合 弘人	(2) 特急「あずさ」の富士見駅停車を増やすためにできることはあるか。	⑤ 特急の利用者を増やすための施策を、町として検討する考えはあるか。	町長
				⑥ 富士見駅にエレベーターを設置してほしいという要望が、住民の間で日増しに高まっていると感ずるが、町はどう考えるか。	
			(3) SUWA小型ロケットについての町の考えは。	① 製造業の人材育成に向けた新たな事業であり、諏訪地方が連携するプロジェクトだと思う。町は枠組みから撤退したのか。	町長
				② 町内の企業側と協議する中で、どのような反応があったのか。	
				③ 今後、プロジェクトに復帰する可能性はあるか。	
			3	2	五味 平一
② 過去・現在までの教育の変遷は。また、未来へと続く改革後の教育のあり方をどのように考えるか。					
③ 2020年度以降の教育改革から生まれる教育は、子供をどのように変えようとしているのか。					
④ 21世紀を生き抜くための能力は大きく変わると言われるが、何をどのように期待しているのか。					
(2) 2020年学習指導要領指針アクティブラーニングについて	① 教育改革をけん引するアクティブラーニングは、教育の守護神になれるのか。根拠は。	教育長			
	② 主体的な学びとは、具体的に。				
	③ 対話的な学びとは、具体的に。				
	④ 深い学びとは、具体的に。				
(3) 2020年学習指導要領外国語について	① 小学校3・4年生の英語教育の内容は。時間割、指導者は。	教育長			
	② 小学校5・6年生の英語教育の内容は。3・4年生との違いは。時間割、指導者は。				
	③ 英語の授業が増えるが、現在の時間割と4月からの時間割の変更点は。				
	④ 土曜日授業の考えは。				
(4) 2020年学習指導要領プログラミング教育について	① 小学生に期待するプログラミング教育の狙いとは。評価はどのように。	町長 教育長			
	② 既存の教科の中で実施されるが、取り入れる教科・時間等は町内全校同じか。				
	③ プログラミング教育を実践するために、教育用のPCやネットワーク環境の整備、授業用機材の準備は。				
	④ 子供に格差が生じないよう、教師にはプログラミング教育の定義や、指導方法は確立されているか。				
4	10	五味 仙一	(1) 教育環境について	① 町の義務教育は、充実していると感じる。帰郷や移住の条件の一つとして、子どもの教育は重要だと思うが、更に充実させ、教育環境をPRしていく考えは。	教育長
				② 部活やスポーツ少年団など、以前に比べてスポーツをしない子どもが増えていると感じる。「体育」「スポーツ」に関わる現状と今後について、どのように考えているか。	

質問順

第506回 令和2年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
4	10	五味 仙一	(2) 異常気象時の行動について	① 台風や豪雨など異常気象時、小中学生の登下校の安全対策はどのようにしているか。	教育長
			(3) 学生と地域の繋がりについて	① 中高生と地域とのつながりが希薄になってきていると感じる。キャンプなどの地域行事や御柱などの祭りに参加し、地域を愛する心を育てることは重要と考えるが、どのように考えているか。	教育長
5	6	島 正孝	(1) 母子家庭、父子家庭の支援について	① 現状把握している母子・父子家庭の実数は。	町長
				② 住民福祉課と子ども課が窓口対応しているが、複雑困難なケースの対応は。	
				③ 年間、児童相談所等 専門機関との連携数は。	
			(2) 高齢者の生きがいづくりの取り組みについて	① 現状どのような取り組みがあるか。	町長
				② 民生児童委員等の協力を得て、高齢者の社会参加への意欲、特技、希望等を聴取し、社会参加への動機づけにできないか。	
(3) 富士見駅のエスカレーター、エレベーターの設置について	① 高齢者、身体の不自由な方、荷物を沢山持っている方は、富士見駅の利用は困難で仕方なく小淵沢駅、茅野駅を利用していると聞く。富士見駅利用者増、利便性の向上、住みよいまちづくりの一環として、エスカレーター、エレベーターの設置が必要と考えるが。	町長			
(4) 分水の森整備の方向性について	① 将来的な植栽計画と樹種はどのように考えているのか。	町長			
(5) 図書館、図書購入予算の推移について	① 情報の多様化の時代にあっても、図書の果たす役割は少しも減っていないと考える。他市町村と比較しても、その利用者の多さは、その事を物語っている。将来的な投資と考え、図書購入予算の増額は考えないか。	教育長			
6	7	三井 新成	(1) 危機管理について	① 新型コロナウイルスに対し、行政の立場で、どう捉えて、その対応をどう考えているか。	町長 教育長
				② 町民に対しての予防啓発や、予兆等がある場合の対策等を広報等で周知すべきと考えるが町長の考えは。	
				③ 万一感染者が出た場合は、どのような制約を考えているか。	
				④ 町内事業者においては、すでに経済的影響が発生している。今後、何か支援策を考えているか。	
		(2) 災害対策について	① 2年続けての台風による倒木により、長期の停電が発生したが、支障木はどのくらい処理される予定か。	町長	
			② 土砂災害対策としての現状の状況は、今年の台風の時期には間に合うか。		
			③ 各集落の一時避難所を開設するにあたり、問題なく避難していただく状況となっているか。		
			④ 防災マップの再発行を考えているか。		
		(3) 町道と県道の管理について	① 近年町内の町道・県道を頻繁に大型トラックが通行し、高森交差点などでは交通障害が発生しているが、把握できているか。	町長	
② 信号機や停止線等の見直しが必要と考えるが、県にも働きかける考えは。					

質問順

第506回 令和2年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
6	7	三井 新成	(4) 観光のあり方について	① 富士見町に来られる観光客にとって、自然を満喫でき、くつろげる観光施設が必要であると思うが、施設を作る考えは。	町長
				② エコラインの沿線に人が集まり、景色を楽しんでいただく公園用地を確保する考えは。	
7	3	名取 久仁春	(1) 楽酪ミルク工房の活用について	① 事業費の中で、国の補助金と町の負担金の内訳は？	町長
				② 国の事業検査とその方法は？	
				③ 事業継続期間と基金総額は？	
				④ 工房の設置場所として、現地が選定された理由は？	
			(2) 病害虫テンサイシストセンチュウについて	① 説明会参加者の内訳は？	町長
				② 農地209か所での調査方法は？	
				③ その調査結果は？	
8	8	名取 武一	(1) 「富士見パノラマリゾート」について	① 町長は、12月議会で観光施設貸付14億5千万円は70年で、長期貸付金約30億円は150年で返済するとし、これは町への経済効果を考慮すれば当然と発言された。であれば、この経済効果について、町民が理解できるように各分野にどれだけの経済効果がでているのか、説明すべきではないか。	町長
				② 平成14年に「再生計画」なるものを発表したのが、これまでの経過を見るとこれはとん挫したとも言える。ずるずると町費を投入するのではなく、新たな「再生計画」を発表し、町民に問うべきではないか。	
			(2) 教職員の働き方改革について	① 地元新聞で、茅野市教育委員会の教職員の働き方改革の取組みについて報道された。これに鑑み、富士見町の教職員の状況と対策は。	教育長
				(3) 人口対策について	① 大学卒業生が富士見町に定住した場合、奨学金返済の一部を町が支援しますよ、というような制度を作れないか。
(4) 富士見町でも「気候非常事態宣言」を	① 長野県、白馬村の例に倣い、「気候非常事態宣言」をすべきではないか。	町長			
9	9	織田 昭雄	(1) 特急あずさダイヤ改正に伴うまちづくりについて	① JRと自治体との連携について町はどう考えるか。また、駅前をどの様にして行くか今後の方策はあるか。	町長
				② 駅前駐車場にあずさ乗車客用の特別割引レーン整備の実現を目指して、商工会と調整をはかり実現するように町長自らが働きかける事は出来ないか。	
				③ 駅舎の空きスペースの再利用やエレベーターの整備を真剣に考え、高齢化社会への対応と観光地への誘客促進を図るべきではないか。町長の考えは。	
				④ 駅前広場の夜間照明をせめて最終列車が通過するまでは明るくするべきだと思うが、町長の思いは。	
			(2) 学校教育施設など公共施設の再編方針について	① 再編方針のスケジュール検討の中で第一期後半から方向性の検討を開始とある。すでに第一期2026年まで4年経過したが、今までどの様な検討がされたのか。また、今後のスケジュールは。	町長 教育長
				② 優先度1は学校教育系施設とあり、30年後には年少人口が50%まで減少する予測が立てられている。既存の校舎の老朽化の現状を町はどの様に捉えているか。	
				③ 学校や保育園の敷地内、通学路等の樹木の成長が温暖化に伴い著しい。枯れ枝の落下等もたまにあるが、どこかの時期には予算化して環境整備が必要ではと思うが町はどう考えるか。	
				④ 町内学校や保育園の職員室や教室へのクーラーの導入計画は、どの様に考えているのか。	

質問順

第506回 令和2年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
10	4	小倉 裕子	(1) 町職員の人事異動について	① 入職時を始めとし、職員本人の希望を聞く中で、専門性を身に付け、それを伸ばし、より良い住民サービスにつなげていく、という考えは。	町長
				② 引き継ぎ書の内容の標準化はされているか。重要書類の保管方法について、どのように管理されているか。	
			(2) 移住・定住政策について	① 移住・定住促進のための入り口として、ホームページの構成を見直すべきと思うが、どのように考えているか。	町長
				② 茅野市では「楽園信州ちの」というサイトがあるが、富士見町は「町民のページ」に入った右側のバナーから「楽園信州」にリンクされている。茅野市のように「楽園信州ふじみ」を開設することはできないか。	
			(3) 子どもの産み育ての支援について	① 富士見町で発行している冊子「子育て応援BOOK このゆびと一まれ」をもっと有効活用する考えは。	教育長 町長
				② 移住・定住促進には、子どもを産み育てやすい環境が大事な要素の一つであり、移住先に富士見町を選択するカギともなりうる。富士見町の子育て支援に対する施策を、より強くホームページ上でPRすることが有効だと思うが、その考えはあるか。	
				③ 働く女性が子どもを産み育てることに対する支援は充分か(特に移住してきた核家族)。また、その情報は、きちんと全ての町民に伝わっているか。	

3月9日(月) 5名 1番～ 5番
10日(火) 5名 6番～ 10番